

## 第21回おいしい水づくり推進懇話会

日時 平成27年11月13日(金)  
午後1時30分～  
会場 千葉県水道局幕張庁舎  
2階特別会議室

### 次 第

#### I 開会

#### II 局長挨拶

#### III 座長挨拶

#### IV 黙祷

#### V 議題

- 1 おいしい水づくり計画の各施策の取組状況
  - (1) 技術的な取組み
  - (2) 安全・安心・おいしい水づくりキャンペーン
  - (3) お客様と協働した取組み
- 2 次期「おいしい水づくり計画」について
  - (1) 次期計画の検討状況
  - (2) キャッチフレーズ

#### VI 懇談

#### VII その他

#### VIII 閉会

## 第2 1回おいしい水づくり推進懇話会議事録（要旨）

### （1）残留塩素低減化試験について

（構成員）試験期間中に、末端で残塩が上昇した原因は何か？

（水道局）給水場に流入する水の残塩濃度の変動や、試験期間中の水温の低下によるものと考えられる。

（構成員）一部の地点では残塩が日変動しているが、この原因は何か？

（水道局）水使用量の日変動によるものと考えられる。

（構成員）夏は水を飲む量が増える。また、夏休みに旅行や帰省をする機会がある。そういう点で、最夏期の残塩低減化は、力を入れるとPRにも効果的なのではないかと思う。

（構成員）一方で、安全性の面では最夏期にあまり下げられないのがジレンマである。

### （2）次期おいしい水づくり計画について

（構成員）中期経営計画で扱うことかもしれないが、今後は、経営の安定性や料金について、利用者との理解を深める必要がある。

（構成員）技術的な取組みの中の「安心して飲んでいただけます」とは、どういう施策を行うのか？

（水道局）検査機器の更新整備、水安全計画の策定、水質検査計画に基づいた水質検査等、水質管理の施策が中心となる。

（構成員）易しい言葉になった分、分かりにくくなったように思う。具体策を追記した方が良くかもしれない。

（構成員）水道局は、国内外からの汚染物質や気候変動・災害等の際にも安定して水供給できることが重要である。その上での、安心でおいしい水づくりだと考えている。

（水道局）おいしい水づくり計画とは別に、中期経営計画の中で、安定供給できる強靱な水道を目指す取組みを行うこととしている。

（構成員）安定供給のための取組みを実施していることを、一般の水道利用者に知ってもらうことで、安心感につながり、おいしい水づくりへの説得力も増すと思われる。

（構成員）災害時等に断水するような際にも、水道局の対応状況が分かれば利用者は安心できる。そのようなこともコミュニケーションの一つと考えられる。

（構成員）「お客様に正しい情報が伝わる必要がある」「お客様に理解していただける広報」とい

うのは、どういうことなのか？

(水道局) 一方的に情報発信するだけでなく、相手に伝わっていることが非常に重要であり、そのような広報を目指す、という意味である。たとえば、以前に比べて最近では、水道水を飲まないという認識が広まっているが、水道水が安全・安心であることを PR して理解していただくことで、飲んでいただけるのではないかと考えている。

(構成員) 親が子供に「水道水を飲んではいけない」という場面も多い。そのような場合は子供にも親にも理解してもらう必要がある。

(構成員) 次期計画のパンフレットで、過去の 10 年の実績と今後の 5 年間で分かるようにした方がいいのではないかと。

(構成員) 過去の 10 年と今後の 5 年でどこが新しくなったのかを、分かりやすくした方が良いと思われる。個人的には「安全」というキーワードが入った点が新しくなっているように見える。

(構成員) カルキ臭、利き水、水質検査体験等で数値データが出てきているので、今後の 5 年でそのような数値がどのように変わってくるかを出してほしい。カルキ臭については、栗山や野菊以外の浄水場についても調査検討をしていただくと良いと思う。現計画でのインターネットモニターの満足度と同じように、5 年後に達成度を評価できるものがあると良いと思われる。

(構成員) カルキ臭では、揮発性窒素化合物や促進酸化等の説明があった。そのような新しい取り組みを入れてみてはどうか。実際に行うかどうかは今後 5 年間のことになるが。

### (3) キャッチフレーズ

(構成員) キャッチフレーズは、印刷したのを見ることを考えると、「千葉」という字は漢字の方がわかりやすいと思う。

(構成員) 水道水の品質が向上し、アンケート結果も良くなっているので、これを PR できるものが良いと思う。

(構成員) 現在のキャッチフレーズから、つながるイメージのものが良いと思う。

(構成員) 今後も計画を続けるので、これからも続くイメージのものが良いと考える。

※キャッチフレーズについては、構成員の意見を伺い、最終的に水道局で決定することとしています。

#### (4) その他

(構成員) ミネラルウォーターの利用者は氷もミネラルウォーターで作る。夏場に水道水で作る氷がおいしい、と PR できればよいと思われる。

(構成員) 冷凍庫の仕様書では製氷に水道水を使うように指定しているが、小さく書いてあるだけで周知されていない。ミネラルウォーターのメーカー側もその点に言及はしない。また、ミネラルウォーターで氷を作っても現時点で致命的なトラブルは起きていない、という現状がある。水道水でも煮沸したら塩素が除かれるので同じことになる。

(構成員) 以前の懇話会で報告のあったオランダの水道水は、塩素処理をしていない。そのような水では、保存期間等についての対応の結論が出ていなかった。そういう意味で不安があるのではないかと思う。

(構成員) 利用者と事業者の間で水道水の水質管理に関する合意ができていることが重要だと思われる。

(構成員) 千葉県水道局では、全量高度処理化の計画はあるのか？

(水道局) 全量切替の方針はある。ただし、更新時期までは現存の施設を使わなければいけない。

(構成員) ポタリちゃんの着ぐるみが古くなってきている。動きやすいように改良するなど、リニューアルしてはどうか。